

『涌丸獅子舞保存会』の取組・課題について

① 涌丸獅子舞保存会について

涌丸獅子舞保存会とは

廃絶の状態にあった郷土の伝統芸能である「**ささら舞**」について、NHKの番組企画で舞を再現させたことを契機に復活させようと衆議一決して保存会を結成し、技能の高めと保存維持に努めている。

結成時期

昭和46年

会長

5代目会長 瀬谷 喜久男



② 涌丸獅子舞保存会の取組について(保存会会則より)

目的

会員相互の親睦と祖先伝来の涌丸獅子舞の発表と継承のため結成。

(※涌丸地区に存在する全戸を会員とする。)

事業



はやし、舞等の練習



他市町村文化団体との交流



その他本会の目的達成及び運営に必要と認めたこと

③ 「ささら舞」について

市指定重要無形民俗文化財
(平成11年3月30日指定)

涌丸山医光寺境内に建立されている赤城神社の例祭行事の一つとして「獅子舞」が奉納されており、この土地ではこれを「ささら舞」と称している。

江戸期(安永年間)の導入とされており、無病息災、五穀豊穡を祈った舞であり、「ささら」と呼ばれる竹を細く割って束ねた楽器を用いたことから、「ささら舞」と呼ばれている。

④ 課題について



保存維持への機運醸成



後継者育成(少子高齢化)

